

GKP 北海道 令和4年度 ウェブセミナー 報告書

下水道の新たな展開 ～ディスポーザーに関する最近の話題～

主催：GKP 北海道

日時：令和4年7月8日（金） 15:00～17:00

場所：ウェブセミナー

GKP 北海道は、令和4年7月8日（金）令和4年度ウェブセミナーを開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により、一部幹事とコアメンバーのみ参集し、ウェブセミナーとして開催いたしました。本セミナーは、GKP 北海道会員に限定して募集し40名の参加がありました。

講演：下水道の新たな展開

講演者：日本大学生産工学部 土木工学科 教授 博士（工学） 森田 弘昭 氏

講演：ディスポーザー導入地域の実態 一道内の情報を中心に

講演者：東京農業大学農芸化学科 客員研究員 博士（農学） 吉田 綾子 氏

森田先生のご講演では、ディスポーザー、紙おむつ、おしりふき、と市民にとってとても身近で大切な話題提供となりました。少子高齢化社会では介護施設が不足し在宅看護が急増しており、ゴミ出しの負担が大きい。この生ごみをディスポーザーを介して下水道システムに入れる。中でも受け入れた際の下水道管路内での分解についての実験成果をご報告いただきました。紙おむつを下水道システムへ投入する際の、紙おむつの処理方式についてや下水道への紙オムツ受け入れ実現に向けた検討会についてのご説明をいただきました。

おしりふきでは、下水道へ流せる製品企画に関して、製造者と下水道管理者の主張についてご説明いただき、受け入れにあたっての課題をレクチャーいただきました。「今回参加いただいた方は下水道の専門家です。ディスポーザー、紙おむつ、おしりふきなど下水道に影響のある事象に関して、実態をきちんと把握して科学的に判断していただき、市民に変わって議論してほしい」と締めくくられました。



吉田先生のご講演は、全国でも先進的にディスポーザーを取り入れている道内の導入実態調査についてご報告いただきました。道内のディスポーザーを導入した自治体である、沼田町、興部町の状況やアンケート調査結果をご報告いただきました。

意見交換では、ディスポーザーの普及に関する議論、普及状況や普及しないことに関する議論など活発なご意見がありました。



